

保育所等におけるICT化の推進について

(教育民生常任委員会・所管事務調査報告)

令和6年1月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、各常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っております。

そこで、教育民生常任委員会としては、令和5年度の調査テーマを「保育所等における ICT 化の推進について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねるとともに、市民との意見交換会、香川大学生との意見交換会、及び2回にわたる高松第一高等学校生徒との意見交換会での意見等を踏まえ、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、報告いたします。

1 現状及びテーマ選定の理由について

国においては、本年4月にこども家庭庁を発足し、「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組んでいるところです。

このような中、昨今、保育所等では、送迎バスへの園児置き去りや不適切な保育が問題となっており、その背景には、多忙な保育職場における保育士の業務負担の増加もあると指摘されています。

そこで、本市においても、保育所等における保育士の業務負担を軽減し、保育の質の向上を図るため、令和5年7月6日の委員会で所管事務調査テーマに選定しました。

2 委員会等の開催状況及び活動内容について

(1) 教育民生常任委員会

① 令和5年8月16日 当局からの現状等の説明・質疑応答

〔当局の説明概要〕

保育士の業務は、日々の保育に加え、保育日誌等の書類作成や保護者対応などを限られた人員で行っており、保育士が子供や保護者一人一人に丁寧に向き合うための十分な時間の確保が難しいことから、職場環境の整備や、より質の高い保育の提供が求められており、そのためには、保育所等におけるICT化の推進が必要となっている。

ICT化の推進により、保育士の業務負担が軽減されれば、子供一人一人に丁寧に向き合う時間の増加にもつながり、保育の質の向上も見込まれる。また、欠席連絡など、保育士・保護者間の連絡・情報共有がスムーズになることによる利便性の向上や、さらには登降園管理などにおいて、目視に加えてより確実に、児童の安全を確認できるなどの効果も考えられる。

しかしながら、本市においては、現状、各園に1台ずつタブレットの配備は行っているものの、効率的なICTの活用までには至っていないことから、今後は現場の意見も踏まえ、必要な機能等を備えた保育業務支援システムの導入や、子供たちの活動や遊びの中でのタブレットの活用方法について検討する必要がある。

② 令和5年9月16日 論点整理・質疑応答

③ 令和5年11月14日 先進地視察後の委員間討議

④ 令和5年11月28日 取りまとめ案の確認

(2) 視 察

令和5年11月9日・10日 先進地視察

○京都府京都市・大阪府枚方市

- ・保育所等で ICT 化を推進し、
質の高い保育を提供するために必要な機能について
- ・タブレット等を活用した好事例について
- ・導入した後、職員全員が効率的に活用するための取り組みについて



9日 京都市立上賀茂幼稚園



10日 枚方市立枚方保育所

(3) 意見交換会

① 市民との意見交換会

令和5年11月6日

② 高松第一高等学校生徒との意見交換会

令和5年9月29日・10月30日

③ 香川大学生との意見交換会

令和5年11月13日

3 委員会としての提言内容について

〔12月4日の委員長報告（閉会中継続調査終了）〕

保育士の負担軽減と、質の高い保育の提供及び保護者の満足度向上のため、保育業務支援システムの導入も含めた、保育所等におけるICT化の推進を、次の事項に留意し、速やかに取り組むこと

(1) 導入するシステムに必要な機能等について

- ① 保育士・保護者双方にとって使いやすい「保育業務支援システム」を導入して、業務の効率化を図り、保育士が子供との時間をより確保することで、質の高い保育につなげるとともに、保護者との連絡等に関する機能や、昨今問題となっている子供の安全確保に関する機能の付加も検討すること
- ② 使用するタブレット等は、システム導入の効果が十分に得られるよう、必要な台数の確保に努めること

(2) タブレット等を活用した遊びや学びの支援について

子供たちが楽しむことはもちろん、学習していくための意欲を育み、また学習の基礎を作っていくため、動植物の成長過程の観察・記録やピアノの演奏及び絵本の読み聞かせなど、成長や発達に良い影響を与えることが出来るようなタブレットの活用方法について検討すること

(3) ICT機器の導入後、職員の効果的な活用について

- ① ICT機器の導入効果を最大限に発揮するため、使用する保育士への研修会等の開催及びサポート体制を検討すること
- ② ICT機器の効果的な活用方法等に係る好事例等を、他の園にも情報を共有できる仕組みづくりも検討すること